

試験結果一覧表

【試験計画】

		試験名称	試験内容	実施部門	
機能 単位	単体試験	単体試験 (UT)	新規・改造された各モジュール単位の機能確認を行う。	開発 PJ	
	結合試験	結合試験 (IT)	新規・改造された各モジュールを通して、モジュール間 IF、モジュール間、プログラム間、システム間の機能確認を行う。	開発 PJ	
	システム 試験	総合試験 (PT)	システムとしての総合的な機能確認を行う。 <b>流用部分の回帰試験 (ディグレード確認) を含む</b>	運用部門で総合的な機能確認を行う。	開発 PJ
		運用試験 (OT)			
非機能単位	性能試験 ／負荷試験		結合試験時に、応答性能を測定し、目標値を確認する。総合試験時に、負荷試験を実施し、目標値を確認する。	開発 PJ	
	セキュリティ 脆弱性診断		単体試験終了後、ソースコードに対して脆弱性診断ツールを実施し、重大なセキュリティ脆弱性がないことを確認する。	品質保証部門	
	インストール試		対応環境下におけるインストールの正常稼働を確認。インストーラーの試験実施	開発 PJ	

流用部分に関する機能のディグレード確認 (回帰試験) を実施している試験種別について説明を行う

方式に関する確認試験、機能に共通する確認試験等を対象とした試験種別／内容を解説してください。

開発担当以外の第三者が試験を実施しているかを確認します。

【試験対象情報】

	機能数	規模 (KSLOC 等)
新規・改造	30	80
流用 (既存)	160	320

機能数とは PSQ 認証における評価対象の機能数のことです。  
規模とは KFP や KSLOC 等で表わされる開発規模のことです。

新規：今 Version で新たに追加した機能。  
改造：今 Version で機能改良を実施した機能  
流用 (既存)：今 Version では機能改良を実施していない機能

【試験結果】

[ 機能単位の試験結果 ]

		単体試験 (UT)	結合試験 (IT)	システム試験 (PT)
試験項目	項目数	8000	4000	1360
	試験密度	100	50	17
不具合	件数	160	48	10
	残存不具合	0	2	0
	不具合密度	2.0	0.6	0.12
判断基準	試験密度	70~150	31~75	8~28
	不具合密度	0.7~3.7	0.2~1.2	0.05~0.27
	残存不具合	0	0	0
申請者の判断		OK	OK 2件の残存バグは PTにて対応する予定	OK 運用部門への 申し送り事項なし

・■は記載必須事項になります。その他は判断基準に基づく管理データを記載してください。  
・様式では試験密度、不具合密度を記載してあります。  
・本記載例では残存不具合 0 を判断基準として加えています。

申請者の判断：  
・品質の判断基準に基づく実績値の評価  
・判断基準から外れた場合の対処内容  
・その他特記事項  
等の判断したエビデンスを記載してください。

[非機能単位の試験結果]

試験名称	実施結果	申請者の判断
性能試験、負荷試験	応答性能、負荷性能ともに、要求仕様書で要求された目標値内であることを確認した。	OK
セキュリティ脆弱性試験	重大な脆弱性は検出されなかった。中位の脆弱性が 1 件検出されたが、セキュリティパッチにて改修を確認済み。	OK
インストール試験	対応環境下でインストーラーが正常稼働することを確認した。	OK

	とを確認（インストールテスト、アンインストールテストを実施）	

※上記は申請製品に関する試験計画、及びその試験結果をまとめた一例である。  
 申請製品により、試験計画（名称や内容）、品質判断基準は、個々であるため、製品出荷時における試験品質を判断したときのエビデンスで取りまとめることで良い。